

サザンクロス大学への協定校留学 月例報告書（4月）

若林 初花

・大学生活

サイクロン（台風）も治り、オーストラリアに到着して2週間、やっとサザンクロス大学での大学生活が始まりました。サザンクロス大学の授業制度はとても特徴的で、授業に出席してもしなくても、成績に入らないため、クラスメイトは10人ほどです。テストや課題等の提出で成績が与えられます。また、サザンクロス大学はほぼ毎日イベントを開催してい

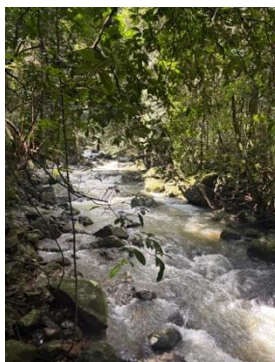
て、学校に通い始めて1ヶ月半授業がない日でも毎日学校へ行っています。月曜日は無料で開催されているヨガ教室へ行き、火曜日は無料でワッフルを配っていたので食べに行き、水曜日はお菓子詰め放題に参加し、木曜日はライブ音楽を聴き、金曜日は無料でランチを食べました。



・Springbrook National Park

サザンクロス大学には、留学生を対象に無料で遠足へ連れて行ってくれるプログラムがあります。私は、「Springbrook National Park」と「Fingal Head Lighthouse」へ行くプログラムに参加しました。朝9時に学校に集合し、そこからプログラムを担当する教員が引率してくれました。バスに乗り、ナショナルパークへ向かいました。ナショナルパークは、滝や洞窟が見られる自然豊かな場所でした。お昼には近くの広場に移動し、先生が用意してくださったホットドッグをいただきました。オ

一
ん
議



ーストラリアのホットドッグは、食パンにソーセージを挟んで食べるようで、とても不思議に感じました。お昼を食べた後、フィンガルヘッドライト

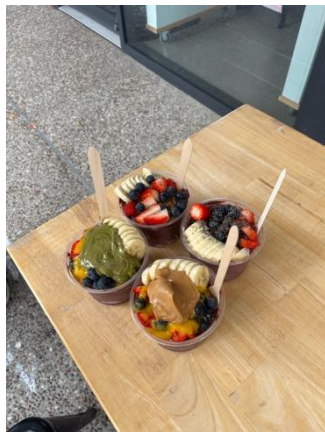
ハウスへ行きました。たくさんの絶景とたくさんの自然を見ることができ、また参加してみたいと思いました。



・ハウスメイト

2ヶ月間ステイ先で暮らして感じたことは、ハウスメイトとの絆の大切さです。私はオーナーとワーキングホリデーでオーストラリアに滞在している日本人3人を含む、5人で一緒に住んでいます。学校や外では英語を使わなければならない中、家に帰って日本語で相談したり、会話ができたりすることがとても嬉しく感じます。英語力を向上させるために留学しているのに、日本語で話すことに少し迷いを感じることもありますが、それでも私はこの環境で良かったと思っています。私たちは、ハウスメイト同士でアサイーボウル巡りにハマっています。家の近くのアサイーショップから、バスで1時間ほどかかるお店まで、さまざまなアサイーボウルを食べ比べました。また、家では餃子を100個作り、餃子パーティーをしたり、残った餃子を冷凍して次の日も餃子を食べたり、シェアハウスだから

こそ感じられます。



る楽しみをたくさん



さん実感しています。

・おわりに

オーストラリアでの生活も慣れ、とても充実した4月でした。3月は、サイクロンであまり外出することも、学校で授業を受けることもできなかったのもので、4月はこんなにも楽しむことができて良かったです。5月もとても楽しみです。